

武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社

平成 22 年度 第八回放送番組審議会 議事録

日 時： 平成 22 年 12 月 1 日（水） 11：00～12：00

会 場： セコム SC センター4 階第 2 会議室

出席者：

<番組審議委員>

見城武秀委員 岡崎昌史委員 牧野洋子委員 河野康之委員 天野康之委員 土方弘子委員

<武蔵野三鷹ケーブルテレビ株式会社（以下 MM と略）>

福田治樹社長 岩淵豊治常務取締役 秋元政三監査役 金子俊治顧問

<ジャパンケーブルネット（以下 JCN と略）>

清田裕司西東京エリア室長 岡崎文生マネージャー

欠席者： 中山廣明委員 大久保康雄委員

書 記： 企画室 高田

1 【開会の挨拶】

司会 岩淵豊治常務取締役

2 【社長挨拶】

MM の経営状況は今年度も増収、増益を保っており順調。来年 7 月、完全デジタル放送への移行を迎え放送サービス、特にコミュニティチャンネル（以下、コミ ch と略）の番組内容が益々重要となる。今後、地域にとって必要とされる番組作りは勿論の事、地域力についても検討していく上で審議会でも意見をいただきたい。

3 【各番組審議委員挨拶】

土方委員、牧野委員、見城委員、天野委員、岡崎委員が自己紹介を兼ね挨拶

4 【局側紹介】

岩渕常務取締役より局側スタッフを紹介

5 【番組紹介】

◎清田西東京エリア室長より本部制作番組、エリア制作番組について説明

◎岡崎マネージャーより MM の制作体制について

- ・ 5 名体制 デイリーニュース（15 分番組）の説明
- ・ 今後の番組制作について
- ・ 市民参加、地域ネットワークを大切にした内容（例：市民直産野菜の紹介等）

◎岩渕常務取締役より選挙関連番組について補足

- ・ 番組制作及び放送についてのルール説明

6 【各委員の意見】

◎来年に控えた市長・市議会選挙は地域住民の関心事でもあるが放送については公平を保つよう扱いについては慎重を期して欲しい。候補者討論会等の責任所在は主催者側より放送した局の責任が重いと聞いている。他局でのトラブル事例の説明もあったが今回、放送についてのルール説明もありこれを公表する事で公平性が保たれるのではないかと。リスクはあるが情報発信としては必要。

◎選挙関連番組については公平性を余り強調しすぎるのは如何なものか。ルールをがっちり作り過ぎると逆に反発される事も予想されるのでよく検討して欲しい。

◎地域ネットワーク作りを強化していく番組については双方にメリットがあり積極的に制作していく事には賛成である。

◎WEB との連動についてコミ ch が NET で動画が見られるようにならないか。また、蓄積して過去の作品も紹介できるようになれば見逃した内容も視聴できるのでないか。

7 【まとめ】

◎選挙関連番組はリスクは当然あるが番組制作及び放送ルールについて公表する事で問題はないが今後も JCN と協議を重ね柔軟に進めて行くと言う事で同意を得た。

◎地域ネットワークを強化していく番組作りは双方のメリットを考え今後も積極的に取り上げ制作していく事で賛同を得た。

◎WEB との連動については、現在 JCN で実施している VOD サービスについて説明。NET での動画配信は現在実施している市報番組を紹介。

8 【その他】

◎MM の伝送路について説明、インターネットサービスについての紹介

◎コミ ch における CM 獲得についての現状を説明

以上をもって、平成 22 年度、第八回番組審議委員会は終了した。

以上